

あいあいクラブ
令和2年度 事業者向け放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			室内が広がるよう扉を撤去、物の収納等の工夫をしている。また屋内、屋外での活動やエリアをグループ毎に分けている。
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			少ない配置でご本人の自発的な行動と自立を促す為、安全へ配慮した上で手を貸しすぎない点に重視している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			玄関にスロープあり。配慮が必要な利用者には個々に対応している。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			業務分担を事業所内で共有し、定期的に作業内容・業務内容の見直しを行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			毎年実施しているアンケート結果を踏まえた業務改善に努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			公開している。職員への周知も行う。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	現在は出来ていないため、今後は法人として検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			法人としては年2回実施している。今後も障がい特性に合わせた研修の機会を増やしていきたい。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			アセスメントを定期的の実施し、学齢に応じた計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			<input type="radio"/>	現状、使用していないが、個々の計画に反映できるよう保護者や関係機関と共有しながら取り組んでいきたい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか		<input type="radio"/>		当日に担当毎に行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			利用者の状況を考慮し、その日ごとのプログラムを考え、またご本人の意思を尊重して固定化しないよう工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			集団と個々、利用者に応じた支援内容を細かく設定している。利用者全員の状況と意向を踏まえて、活動を決めている。また、個別支援計画に基づいて個々の課題を設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			個々の障がい特性を考えながら、個別の支援と集団での活動を組み合わせた計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			毎日行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	⑩	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		送迎後の振り返りや聞き取りが定着するよう時間の確保に努めている。
	⑪	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			勤務時間内に見る時間を設けているが、より全員が目を通すことのできるような体制を作っていく。個別での記録作成を徹底し、スタッフ会議・個別支援検討会議等で話し合いを行っている。
	⑫	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			計画作成前にモニタリング面談を行っている。また、変化や状況に応じて適宜行う。
	⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			ガイドラインに沿った活動を行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑭	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			保護者や利用者ご本人との関係性、状況に応じて、児童発達管理責任者、常勤職員が参加している。
	⑮	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校へのお迎え時に当日の様子等の聞き取りを行ったり、保護者に依頼して学校の情報収集を行っている。また、トラブル発生時には、すぐに関係機関に連絡する等で対応している。
	⑯	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	該当の利用者がいない。また医療的ケアの必要のある利用者は受け入れられない。
	⑰	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			相談支援事業所を介して連携を図っている。相談支援事業所の協力のもと情報共有に努めている。
	⑱	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			要望や依頼に応じて対応している。必要な場合は相談支援事業所を介して提供する準備をしている。必要に応じて対応する。
	⑲	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		企画はしているが、活動時間と重なることも多く、参加等が難しい場合がある。事業所連絡会を通じて研修を行っている。
	⑳	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	障がいの重い利用者が多く、交流する機会が少ない。今後、行っていきたい。
	㉑	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			今年度より参加している。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			どの職員でも、保護者と話す機会がある際には情報共有できるような話をしている。送迎時・連絡帳等による情報共有に努めている。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		事業所内での成功体験やご本人の出来そうなこと等、支援についての情報共有に取り組んでいるがペアレント・トレーニングは直接的に行っていない。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約面談時に説明を実施。また支援内容の詳細は書面で渡している。不明な点については、随時説明している。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談は都度受けている。改善に向け、事業所内での取り組みを報告して一緒に考えていくよう努めている。相談員と連携して慎重に対応している。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			毎年、法人内で懇談会を開催して意見交換を行っている。また、今年度より保護者のサークルの勉強会を開催。今後も、状況に応じて行っていきたい。
保護者への説明責任	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			窓口の設置をして契約時に説明を行っている。苦情があった場合は、早急に対応するよう努めている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			法人としての広報誌を発行している。その他の連絡事項やお知らせ等については、その都度、案内を配布している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			当日の活動表は必要分のみ、その他の書類等についても当日に回収、破棄をしている。言動についても十分に気を付けるよう日々周知をしている。書類は、鍵付き書庫に保管している。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			利用者においては、個々のツールで対応(マカトン・声掛け・絵カード等)保護者においては、送迎時や連絡帳等で伝える。内容や状況において、電話等で話す場面での対応も行っている。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	現在は地域の方を招待できる行事がないため、地域や養護学校での行事への参加に努めている。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		法人として委員会等を設置し、策定、運用している。職員への周知は徹底しているが、保護者への周知には至っていない。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な言川練を行っているか	○			年2回実施。実施に関して保護者への周知方法の検討が必要。事業所独自で曜日毎に避難訓練を実施し、避難時の対応を検討している。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人として実施している。研修の機会をより増やしていきたい。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			職員間で共通理解を図り、個別支援計画にはその可能性について記載をし保護者に対して説明を行っている。また、やむを得ない緊急時の身体拘束に関する説明書を準備している。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		医師の指示書はないが、保護者からの情報を基に、個別支援計画に記載し対応している。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			月1回のスタッフ会議等で共有している。法人全体では、月1回の月報、年に一度のまとめで共有し対策についての検討をしている。